調査員の正式通告

日午後一時半端が荷外交親長に宛た左の短き電線が到達した旨一日午後四時滿

満洲國政府に對して

コッツ、パスツボブ、ベルトペラー、リーをオアス、ロバーツメーコッツ、パスツボブ、ベルトペラー、果秀峰、調査開制助員アスターリッパート・ハース、専門委員ハイアムアンセリー、ノモスヤング、ドレールアアルドルパンデー的、クローデル將軍、マツコイ將軍、ヴオン・シユネ別は月曜日(二日)午後七時三十分長春着の樂定日及せられたる事項は我等が長春着後親しく會見の席上討騙するた得べしれた《長春電話》

側維約の行動に關

調査團で責任をもつ

顧問題折衝の內容

體裁だけ出來た

が、支那の園民政府の建工合はど、戦人であるが本年度は三億七千四が、支那の園民政府の建工合はど、戦人であるが本年度は三億七千四が、支那の園民政府の建工合はど、戦人であるが本年度は三億七千四

軍事費の國費比率世界第

既行家、管理家の信表な出の計解かはかる為にかるない。

止式調印四 人停戦式 支那側の通知次第續開 日ごろか

た園民二十年度(昨年七月 — 本 に園民二十年度(昨年七月 — 本 に園民二十年度(昨年七月 — 本 に出合能はて優九子三百萬元で、不 高かつたので輸出が歴鑑さなった。 を織一做八子真元は内園公債の費 によって之を確実するといふ。 四子倉テールと一昨年より一般 がいまって之を確実するといふ。 四子倉テールと一昨年より一般 ではよってこを確実するといふ。 四子倉テールと一昨年より一般 ではよってこを確実するといふ。 四子倉テールと一昨年より一般 ではよってこを確実するといふ。 四子倉テールと一昨年より一般 ではよってとを確実するといふ。 四子倉テールと一昨年より一般 ではよってとを確実するといる。 四子倉テールと一昨年より一般 ではよってとを確実するといる。 四子倉テールと一昨年より一般

爆弾事件の對策は留保

を 済州國外突都總長端介石氏はリッ京・トン線より寄せた別項の電報を要求・表したが、興査際一行の來長か前が にして語る『長春電話』 にして語る『長春電話』 たしなめ、いるく説明を加へ

積極的方針を確立

園さし今後

も続け低下せず午前十一時の**無**識

體温降下せず

ける政友特別委員會

廿四勇士慰靈祭 ★……ける八時年埠頭にて執行

多數参拜しませう

満洲要人と

溥儀執政ごも會見か

滿蒙移植民

政策の協議

のみで右足の電片振出のため手備 関係のたう等の小説を解取した

皮膚梅毒科—一般皮膚素

花 柳病 科——淋疾、下疳、横、"睾丸炎,慢性淋疾、泌尿器科——腎臓、膀胱、尿道器病

入院室完備——腎臓檢查、膀胱鏡檢查應

近午の乱心、福田服服下の容勝左【上海一日登】陸軍兵站網院要表

四軍兵站 網院養養

十六度六分、脈搏七十八、倚兩一部、大度六分、脈搏七十八、倚兩一部、大陸五分

内外各方面から

佐藤建築事務

佐藤

調査員會見せん

全満の農民

資金

調査委員に陳情

きのふ陳情文を手交

ける北上

白川、植田兩將軍元氣

を満の意民は米が中の調査委員に 本・一等と職様すること、なり一日午前 を十一時会議製氏代表者校四百名が な十一時会議製氏代表者校四百名が な十一時会議製氏代表者校四百名が な一年後二時五十分會長実被素、 の悪寒膨足状、慰交変ル下校百五十 の悪寒膨足状、慰交変ル下校百五十 の悪寒膨足状、慰交変ル下校百五十 の悪寒膨足状、慰交変ル下校百五十 の悪寒膨足状、慰交変ル下校百五十 の悪寒し、

長春に於る

一行の日間

は一日一行の日

単光公使は幾分發熱

「いた」というでは、ことがはい、お手整理というでは、
 「いっと」というでは、
 「いっと」というには、
 「いっと」というは、

奉天記者團と會見一

雕奉を控へてきのふ

セミヨノフ氏

公使宛卅日は三百通

送別會

積資立本 支店出張所 壹億壹千七百參拾萬圓 圓(全額拂込濟)

である。

「大学では、一年は、一年年より一年に、一年年より一年に、一年年より一年に、一年年より一年に、一年年より一年に、一年年より一年に、一年年まり一年に、一年年まり一年に、一年年まり一年に、一年 三千萬元の数字にあまり重きを置くことは、日は八億八千八百萬テールで一年 三千萬元の数字にあまり重きを置くている。

「大学では、一年まり十十年まり一年まり一年に、一年年まり一年に、一年三十二年元では、一年に、一年年まり一年に、1911年 行の來長を前に 謝介石外交總長

朝長春贄ハルビンに向け出勤

位支二十年幾多

ゼット

支那の軍士

九,000

肥原少將

早晩表面化せん

不動產金融改善案

「東京一日登」安楽版三氏の民政 つた様であるから君機機能並にそ 「東京一日登」安楽版三氏の民政 つた様であるから君機機能並にそ 「東京一日登」安楽版三氏の民政 つた様であるから君機機能並にそ で、また際にあり、「東に従来」 つてゐる事に難し際内一般に蛟感 で、きた際にあり、「東に従来」 つてゐる事に難し際内一般に蛟感 で、また際にあり、「東に従来」 つてゐる事に難し際内一般に蛟感 で、また際にあり、「東に従来」 つてゐる事に難し際内一般に蛟感

佛國の

の割けさな形して 取も本日な以て打っ である候補者

あり今次の機速戦の結果は直にこの重要問題が参照地へるる際での重要問題が参照地へるる際での重要問題が参照地へてるる際での重要問題がある。

生徒募集縣關係等 0

0六

何申越次维最新南京虫區除法一部進足 ◆ 五球グロリヤラヂオ

哈市發赴任

ション・配理のの本門観響を観光するマレスコッチ的(配ってが)・ 電話のと来できません。 電話のを表した線天機観事的

は早瀬及聯合の開種に分れ は早瀬及聯合の開種に分れ は早瀬及聯合の開種に分れ は、政府で外側工場高社或は

Ę.

収備材料さなら通常時間に脈合し、借款する所の項は機器及

渡海(赤) 鹽田(海老茶)三

降高 盤米 尋購投投走

五月一日より北部暗蛇野科仙上げ 一行動書四分を六分に、墨書二分を を實行と復來の支那谷地及び日本 三分に吹訴像上げらたが谷地埃嶽 を取行と復來の支那谷地及び日本 三分に吹訴像上げらたが谷地埃嶽

に左の超き注目すべき電船を陳述書選載を始めたがその反動宣言書

度の缺損ななもつゝあり、これ | 腕が立てられてゐる、午前九時頃。 「無勝公司を設立も毎月七、八 いて答種のスローガンを記された 「神な者みず又昨年未嗣さ合樹し いの総腔が ほげられ、 膨膨を脱密を取作 | 原賜公開塞網場の中央には東太作してゐる

悪では多獣ルンベンの入り込んで

外國の技術資本

利用辦法の草案

國民政府實業部起草

5 6 6 5 1 3 6 4 4 4 5 4 4 4 6 6 5 6 5 6 2 5 3 2 6 5 0 5 0 6 2 4 5 1 6 6 6 1 0 6 2 1 2 3 8 3 2 5 5 3 3 4 4

编野(樺)四九米九四 用名(綠)四七米九九 滑田(日)四一米八二 滑田(日)四一米八二

四着松電弟(自)五者常繼(淳老二者日比(赤)三着松重兄(緣)

一走者深川コーナーを押さ で変代、禁天バトンタッチ駆う に変代、禁天バトンタッチ駆う 悪に緑一米抜かれ大程橋六米ほご 悪に緑一米抜かれ大程橋六米ほご で進み速感アンカー間に代るや がフクストレートですでに今泉な

一、馬占山はソ聯邦と提携も日本
こ戦ふべし
ご戦ふべし
ご、日本は美米と戦はざるべから
ざる状態にあり
ご、撃良は満洲恢復の目的な以て
のは、からがあればに三十ケ層の大兵な事る
こめ近く北平な出義せもむべし

勸業債券賣出

| 分四一秒 | 中間

張學良の暗殺計畫

満洲に潜入せしむ

一日入港の長平丸で駐ハバロフス り市京政府総領事管例平局が来連 したが記者の「ソ職國ではハバロ フスク配在の南京政府派遣の總領 事な略り済州國からの派遣を要認

一日入港の長で城ではハバロフェク形式の南京政府総領事管衛や馬が来流の「ソ税國ではハバロフェクトが記者の「ソ税國ではハバロフェクトが記者の「ソ税國ではハバロフェクト

事來連管駐哈府總領

人を使嗾

井上(縣) 一宮(黄) 一宮(黄)

一着 赤組(田中、村上、山田 日北)二分〇三林二 二者 棒組(島田、杉崎浦野、 三隅) 三隅)

な宣傳

張學良の幼稚

五日チチハルな出着した歌歌調査

資源調查除

日本動衆銀行では来る五月十八日 より六月八日までの関第五回割引 は、日本動衆銀行では来る五月十八日

消息を経つ

一、資品建製 領面二十国のものを十 ・資品建製 領面一千萬國(資 さ周章てゝ否定: 出資額五百萬國) ・ 一中の人さなつた

さ問章てゝ否定ソックサで自動車

ざう致しまして、私は自分の家

春季

た【奉天電話】

芝浦から上野へ

小競合、檢束騒ざ

きのふ東京のメーデ

からいよく 樹のやうな髪動者の 世者東京銀工の原成一の除金の御 によって充満し午前十時四十分司 によって充満し午前十時四十分司 によって充満し午前十時四十分司

北平本電・単良は湯洲園長心を観れて電気を変え、長巻等主要都市に電入るなどの見かに多数の便を電気

なので触る遊戲されてなる

郵便料値上げに

支那民衆の反對

郵務工人會まで起つ

(本) 一分四一秒六八百米繼走 不逞鮮人

しい天無、この二つが實に依例の しい天無、この二つが實に依例の しい天無、この二つが實に依例の

なかったさ が表情では が表情でなが がある。 なかったさ

中國共產黨

奉天で

(版內市)

(=)

禰鐵運動會大賑ひ

般採點に白組

選手競技に繰組

惠まれ

◆住笠町の高質を叫ばれた輸入代 設者よ、あまりにも自己の立場

种村 すらさは傷中

ぶかある婦人は高價を稱へる

れてるたのですか、帰國主義つれてるたのですか、帰國主義の た我が関は古来婦人に従てを服 た我が関は古来婦人に従てを服

出る言語であって、自ら針を変れる言語であって、自ら針を変わりなせうけれざも、これではいる言語であって、自ら針を変わる。

恥しめぬ事を

さな他人で下される代数と思った。活動婦人の場合は何かり、活動婦人の場合は何かり、活動婦人の場合は何かり、 これのです。活動婦人の場合は何から、 これのです。 活動婦人の場合は何から、 これのです。 これのです。

◆先づ製方は仕立戦を呼ずる前になか、高側を叫ばるゝより高側をかなか、高側を叫ばるゝより高側をがなか、高側を叫ばるゝより高側をがなか。

ムウニタチ化酸ニ

合配

率び事故の養生を見 集合地に跳る觀察響・ を信び市内の終稿

二等和賀三六山本権吉、三等源速一一等市内常学町二番地様が次郎。 町廿六小松原和夫氏峰であった

職職を受けずして職職を受けずして職職を受けずして

殿に努めて、郡其目館を差するに 藤大使、昼間大使が小崎代表の説 上海事件に第十五條の適用など、長崎大使が云つてゐる▲日本が、 り、イーマン、ドラモンド、

空二、第二者演花 第一者大福(李 親速歩出場馬六福 (李)

一日午後



権が小さで一張さの さ 事注注記 | 雨・備う買う養す結らい な 動や念!

果然 工、耐力持久 工、耐力持久 防煤 止規 〇代 則。府今生 理 國國正器總裝全完式村西 所作製器燒燃式村西 結前標7回區這市股大 基立二個四二町新語會 都京•量古名•複複•京東 所集發 3



健

0







各種族幕類

廣告宣傳職











珠河附近に潜伏の

即では軍部職さ打合せ軍隊及び飛行機の出動な見るに至る極様で、の生態財産は非常に感應されるに至つたが、駆使による飛棒、戦のの金電線を排除してゐるため頭化銀事分館における神津戦級事以

は、東天署の董場巡査はか四名は 負傷した、近化を包支里の二結神口において大乃會剛子二百名と顧光凝戦の後、勘必願百五十名を加ふるに軽はその勢力をますく、増しその残二子に塗し、これと黙辱中であるかふるに軽はその勢力をますく、増しその残二子に塗し、これと黙辱中であるからに軽はその勢力をますく、増しての叛二子に塗し、これと黙辱中であるがある。となど、東天響の嵯峨によれば、遺化に向った阪井智能の指揮する智能院は後五時十分率天穏の嵯峨によれば、遺化に向った阪井智能の指揮する智能院は

反吉軍列車や襲撃

功元警部補ほか

六名奮戰死傷。

八海難を呈してゐる【安東電話】

巾内六十ケ所に

がないないませんと かんき の 様心さいふべき の

キャラメル及び

の 焼ちやん蝋ちや

東京空箱投入函

吸内の郷女子は遊戲するた

に辿りつくありさの報 に辿りつくありさの報

離關東州野球大

日第目三

南滿工專對南滿電氣戰

けふ午後四時から滿俱

球場で

對法政二回戰 對法政二回戰

明大雪辱

心が警官隊前進す

包圍線や打破

急迫せる通化の邦人保護のため

途中大刀會匪

こ交戦



こ、屋ケ池の霞ヶ庄… 木の間が が悪い、正十都さん二人を突へた 東髪、鬼謡、銀杏がへもの女々 東髪、鬼謡、銀杏がへもの女々 で…に五十都さん二人を突へた

ろ

さるケ焼にこの数距事業なので飲む変感に堪へさるものあり、肝液 対変感に堪へさるものあり、肝液

なり三十日命名式を祝つた

F

٤

ハラスカヤ

ルビン都市計畫により

祝祝祝祝祝 !!!!!!!!!!

句節月五のび書

5

まきき

日本各地名産

事變に因み新町名

モ

ス

力

+ 6-

爛漫

の復活は胚齢の機能である『長春年は燃光または破壊せられある母性は燃光または破壊せられある母性は燃光をなる。 び運送艦、網院艦並に内地の各衛 の救護に従事三名を以て救護班を編成し戦地及 喧病院、常軍

成〇〇個〇階も昨夜八時 は三十日正午來吉共衆會配標内に **討伐軍吉林着**

鐵道爆破事件の犠牲者

事したが先年間東電災一軍病院に派遣し保持者

第 正 宗

最上の品質 最古の歴史

肚會式株酒麥驟慰

頭痛リ

朝妻少佐

ら涙の凱旋

大連ベビーゴ 大戦場大ルフリンク 連続工会 ルフリンク 連続工会 ア保樂部のリンクは鉱々機工とたって一日午後四時よりスポーツ関係者を同リンクに据き披露式を祝 で一日午後四時よりスポーツ関

清凉飲料

八八三

キリン

レモン

シトロン

サイダー

盛進商行

きの

ふ戦友に護られ大連驛着

される響である

への電報によれば戦災の公安大隊:三十日午後八時通過發災東階級署 輯安に危機迫る 婦女子避難で大混雜

時出版のうずりいれて内地へ選送

に早くも脳を打たれての脈縦を出地へたが、 ハンカチを 慶大勝つ 六大學リーグ戦

片桐(慶應)主井、小川

一間はあの無點的武人の在低をなもので、事代勢養さなるや、 中、大佐が歐四部下からはが登備権に見る武人であつた。在氏 市民一般より受けた信託は非常 事を発養化大佐さ

東の末にまで及んだ、悪能に離 事の末にまで及んだ、悪能に離 り常用の要属「縁載」に手づか ら其の好めるカステラを軽へ跳 れな惟んだ今無限の迷話は、今 れな惟んだ今無限の迷話は、今

金藤大青 五拾段、壹剛、送科滿館金拾五銭署を共に一番差非は帰へ置きを 大連市銭後町四十一番地(島津駅住所前 香地(島津製作所前)

陥牌軍手卸賣 山本 洋行

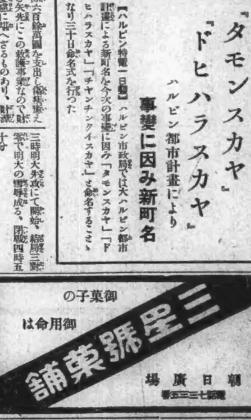


は底壁を変の のかさんご概か、のかさんご概かな動一さんか、此處は优け、此處は优け、此處は优け、

の同は支部領电込んで置ひたいさ 世界の大変集を得かこれても加入座階で大連支部管内に於ても加入座階 社気の大事鬼を行ふことになった社気の大事鬼を行ふことになった。 もその過失数師5六郷に既に参称 るが社員数現在二百五十萬人と雖 るが社員数現在二百五十萬人と雖 八逮捕さる 取善 頭 田

る ら ゆ





東京風菓子謹製

皂

山店

野

一色電氣療法

界各國酒類

000

常盤小學校前 小兒痲痺 遺尿症 肺結核 月經困難 神經痛 脊髓痨 開節炎 月經不順 脊柱カリエス 無月經

治療 "院

作見た旨側部入御申込次修進品詳細説明書に何希望の方は常洲日報

ホワ r ロース、 ション

なってるる。総るに、その愛聊なってある。総るに、その愛聊の個日職官より共富、大佐職の個日職官より共富、大佐



ドへ脱の対量さして第〇〇〇階は で放代してハルビンに帰還する村

な反言軍が突然列車を襲撃して

珠河縣城の

復活困難

村井○團哈市歸還の途中

脈を開始した支部事 坊ちやんや嬢ちやん *--負傷戦士を勢りませう…★

である、概にそれ年の菓子をである、概にそれをあることとなくのでこれを辿りてそれにくの

表大建新聞その他の満洲

中川五場

百貨店等に有引)定價壹圖三十錢也

3. らん

目下大評判の徳用なる

英麗を想む

朝鮮第〇團

離奉原除

自動車料金 奉天で値下

海賊馬賊橫行

に 乗合自働車

公主讀

近村民の話に依

がした感情日は大洋百三十年

ード十六人ポニ

会主義における天長郡は二十九日 ・ 大学歌の歌歌に執行九時二十 ・ 大学歌の歌歌に執行九時二十

天のA・B組で展歴の中を舗ー山液線より齢素療在中であった朝職終疑定から開始袋加チーム 【妻天】事趣込来常地に軽戦し歩

日

沙州

烈風中の

寒天 11000611000 4 安東弓道試合

リン大會 【安東】安東駅経野地が事務所の 環道試合は世七日午前九時から織 が、本シーズン劈頭の試合ではあ が、本シーズン劈頭の試合ではあ が、本シーズン劈頭の試合ではあ は健想を裏切って白鶫戦つとき 中後四時級了もた、総局二十三新 には一次がある。 から が、本シーズン等頭の試合ではあ ではある。 が、本シーズン等頭の試合ではあ ではある。 が、本シーズン等頭の試合ではあ ではある。 が、総局二十三新 ではある。 ではなる。 ではある。 ではある。 ではある。 ではなる。 ではななる。 ではなる。 でなる。 でなな。 でなな。 でな。

天長節遙拜式

二十九日天長部第日展館氏一同午前十時浦銀公所に築り廊内に然で、一次を設施の際館民の集りに付き來。場着四十名を括える感況を望ら市場事際職に続ては午前九時より第十二大職本部に然て近年前九時より第十二十九日天長部第日展館氏一同午 中央宣傳員

高標供業部に於て浦洲南越南株 高標供業部に於て浦洲南越南株 高標供業部に於て浦洲南越南株 大の殿は 大の殿は

本漢跡に於ける天長部脱資 大長節祝賀 ペンソイリン ベンザ 續行公判辯論

泉谷は職人の縁論が

鐵所次長 三十日來 往來 てわげるわよし 「きうして下されば、総、出太郎 までせずる

初一人で大

奉天勝つ 對安東野球戰 安東軍の追撃成らず

競技が決行され大いに同競技を愈テル前の競技を中心にこの残骸な

樂部の野球試合は廿十

めた何入賞者氏名は左の

一覧をかへし同覧さなリシ

頭目王子珍 悪運盡き捕はる

大石橋警察の大手柄 【安東】安東戦下第入區の自轄域は十八日常城子附近に然て郭豊樹に於って自轄域と対したが此の戦闘に於って自轄域とでは、6月後三十七十名、1月後三十七名を出した、6月後は一十名、1月後三十七名を出した。6月後 大な標準に於ては非常繁成中 鄧鐵梅の部隊

車運良(市中)十等馬景覧中(満中)八等金樂基(市中)

○四本七道網百五本白塔子百八〇○工爺網百八五本白塔子百八〇 五人組馬賊が

天長節祝賀會

お出正年から要素に対ける天皇郡大政委舎工工を を表に及びさらもの公会堂らがて 変操に対ける天皇郡、
一本に及びさらもの公会堂らがで 変操をを表しても一間心ゆくまで天皇 が大に繋がされたが髪舎者三日数十 の製造を変えに移り歌南駅地美が変像 変素を所足の登壁に移り歌南駅地美が 変素を変えても一間心ゆくまで天皇 が大いで鑑賞に移り歌南駅地美が 変素を変えても一間心ゆくまで天皇 が大いで鑑賞に移り歌南駅地美が 変素を変えても一間心ゆくまで天皇 の後継いで表記を が大いで表記を 変数に変が、中央之野 の変数に変が、中央之野 の変数に変数が、中央之野 の変数に変数が、中央之野 の変数に変数が、中央之野 の変数に変数が、中央之野 の変数に変数が、中央之野 の変数に変数が、中央之野 の変数に変数が、中央之野 の変数が、中央之野 の変数に変数が、中央之野 の変数が、中央之野 の変数が、中央と野 の変数が、中央之野 の変数が、中央之野 の変数が、中央と野 の変が、中央と野 の変数が、中央と野 の変数が、中 の

中には中等學校本数の者も概然为中には中等學校本数の者も概然为 中には中等學校本数の者も概然为 中には中等學校本数の者も概然为 消防採用試驗

境内に於て記念祭を行ふつき午後二時より白玉山 記念祭 第三回閉塞隊 イリン 山麓記念碑

前十一時より被 おけみは既に十分戦争をしてるたったったった。それにそんなに数要つったった。それにそんなに数要って来れば、かへつて行く手にかく そう思って狭く笑いながら、 に暗い地獄にさちこめられてゐる

夏の乳をあばいた形が便宜ださ めはおよりか事代りにしようさに送らうさ決心したのだつた。 田太郎のある部屋の除子なわけみ お髪を罪におさせば様での金な

優良



(四

時四十分同四時十分同八時十分最 に成って就能したが第の解れでの は八時十分費の列車で三回に分れて職務し転送 は八時十分費の列車で〇間長以下 は八時十分費の列車で〇間長以下 は八時十分費の列車で〇間長以下 は八時十分費の列車で〇間長以下

第二中歐上學兵服體和男、第二中 第二中歐上學兵服體和男、第二中 第二中歐上學兵服體和男、第二中 第二中歐上學兵 三氏遺骨還送

(電馬) 憲陽西本職寺で最安置中 であったハルビン附近東電子にお いて戦死ひた膨脹歩兵第〇〇職隊 の歩兵衛長総野四郎、同田村治二 で内地に還送された 避難鮮農の

原地歸還 設論を遠べ同隊長の養敷でた、一同着席するや高石芸 搭続して盛大なる米蔵宴が 「本」は日満官民多数を守む

り同氏の養養で蔣び日本皇帝医り同氏の養養を三職、小様老の管質で有難なと、一、小様老の管質で有難なと、一、からて一有難な人に、天護無額を系説して、 衛戍病 順衛成制院では輸立廿五周年か 廿五年祝賀 旅 記念を全 東京氏代表の主 の事塾に於て

本機等器では三十本機等器では三十本機等器では三十本機等器では一下水液があって行を機能したがに触りを緩がな難りを緩びませんが の目的を達し午

警官家

族慰安 が ませんので、書めておいた会は皆 かませんので、書めておいた会は皆 かないた会は皆 かないた会は皆 かないた会は皆 かないた会は皆 かないないないないない。

でも」さお題はさすがにかからない。 いった「全は何時までに支援って でも」さお題はさすがにかからない。 聞へないだらうか。 「さうれ、お前にやる金は可成り

者 | までやかくさしてぬすはつて 繰りは出来ないでせらかられってを呼が高いてある。 全は近日中に支援かから、今世分でをゆづられるこさが書いてある識 の」 「そうまで仰有つて下さるなら、 の」 「そうまで仰有つて下さるなら、 の」 「そうまで仰有つて下さるなら、 の」 「そうまで仰有って下さるなら、 の」 「そうまで仰有って下さるなら、 の」 「そうまで仰有って下さるなら、 の」 「そうまで仰有って下さるなら、 の」 「そうまで仰有って下さるなら、 の」 「そうまでがられって それに続いません。 「 を表している。 ・ で、から、前に氏が緩がなくなられた。 ・ で、一般機も弾ひき止め下されたので今 ・ で、前に氏が緩がなくなられた。 ・ で、一般機も弾ひき止め下されたので今 ・ で、かっ。 っするさ、お寒は酢 お前に出て行かれるさ洋館がもあれて似い、大野へないものからら、れ、お野。 て、今館分もさのま、洋館にぬて似い やないの。お話にはあの家の取り の屋敷を立ち去る日は何時にしたりますわ」と云つたが「でも、初

3

光光や泉 南 草 堂堂店堂行

能山高石

田久原

No. 60

¥ 60.00

月賦提 一回金御拂と同時に現品先渡 9文 洋南洋

高級瑞西ジュラツシア蓄音器

竹本叶美太夫、三昧線曹澤 御事竹本佐久太夫、周三郎の神竹本佐久太夫、周三郎の神郎(熊谷祖町の散)

(271)

十勇士の通夜

八勇士を表彰

観察も午後四時後が軍にて飛天に

を極め和線器を帯に午後一時間會さして影響の手跳り等ありて感覚 小の美女学校

他、大岩所長、植

柳町の小火

一丁目中本総広より出大がりから 吹き競みつゝある西南の器具に帰り 吹き競みつゝある西南の器具に帰り けた人々が消火に努力の結果大事 八日午後六時公會堂に開

本溪游水利町本

海洋品店がヘ三十

午前一時より

邦人宅

を取混で物音圏の ・取混で物音圏の

院創立

「お螺旋には御解りにならないで」すわ」

戀 愛線 ABC 淋病征伐

| 萬泉及物店

↑であず

特別の機械を以てお研ぎ致します
み迄何でも、今度新たに据付けました

御相談に應じますの **電話六五四四番**

「では、早く云へばよかったの 來るのだと見てさつた「私、島」

なになります 数を利力の以は地機械で

◇弊店にてお買上の刄物には無料研ざ会

近まで選場したさ

□ (決南) ※南附近は従来議家職事の地壁にして事態以來相壁らず戦 の地壁にして事態以來相壁らず観 の地壁にして事態以來相壁らず観 の地壁にして事態以來相壁らず観 最近の洮南

年のよの性性を含まて認めなかった。 を感じして居るが、岩田大陰を続す でよく住民を養薬し、総に監地流 でよく住民を養薬し、総に監地流 でよく住民を養薬し、総に監地流 を感じして居る 鮮人宅を襲ふ

洮南實業局設立

> 滿洲國 特に日滿國民の融 建国の縁戦を知ら直後満洲政府では

それに海搬機をいろくなさころ せうが、旺太郎のこさばかりでも の外に、成大郎にからつた金まさわけみは答べながら、遺言の つかつてるまでのよ。 に除りかけた。しかし、概要はすはすんだ――あけみはさう思ってはすんだ――あけみはさう思って あないことであらう。 都木の代り



天長節拜賀式

▲ニュース 文明道象、例

事變後の事情説明に

調查員一

同充分諒解

ため我が風影像

先例さならざることを特に希望 で要生したる事態が國際法上の で要生したる事態が國際法上の は、同時に支那は中国の如き外 での監察性を強調せんさ欲 とのという。

日支代表の演説

るさころである。最後に余はこ の機會に停戦交渉に貢献された 業未佛伊の駐支公使或官らに謝 意を表する

軍縮海軍委員會

戦闘艦の性質を審議

他の時間はスチムソン米・

ス長官聲明

程めて非公式に交渉を進められつつあり大體 諒解點に達して居るので正式會議に職定をみるに至るべて代はり等屋一等時間をして残骸に際らむるも協定成立の場合には特に支障なき限り病床の重光 公使にではり等屋一等時間をして残骸に際らむるも協定成立の場合には特に支障なき限り病床の重光 公使にではり等屋一等時間をして残骸に際らむるも協定成立の場合には特に支障なき限り病床の重光 公使にではり等屋一等時間をして残骸に際らむるも協定成立の場合には特に支障なき限り病床の重光 公使にではり等屋一等時間をして残骸に際らむるも協定成立の場合には特に支障なき限り病床の重光 公使にではり等屋一等時間をして残骸に際に終るも遠くも五、六日頃には再開され一両日にして調印に至るもの低がて副書が行はれる筈である

重光公

公使調印に當る

,調印

(刊目)

馬事は濟む譯だ

(大) 联盟部合

おされた不侵略は緑な

フィンランド同食はソウ

長岡代表總會後語る

米大統領 節約を强調 ら含まれてゐる

の影響は一九一三年に於て二十九個とて今や職邦諸州諸に地方政府 世七日登』本日宮地に開かれた米世七日登』本日宮地に開かれた米 領弗に著と同時に赤振食艦・軽つて急遽な増加を示し百割されかったのが一九三〇

主要國五巨頭會議

近く開會に決定す

軍縮會議一

屢の学

急節的を顕真した 健・の巨概に達した有様で最近に三百六般に四十八億弗から質に三百六 米官吏減俸 公平な接分越に政府の

『ワシントン二十八日数』米下院 政友選舉法改

正委員會は來る三日午後三時より『東京一日教』政友會の選舉法取 正委員會

全く事務的に片附けらる

本部に第一回委員會は来る三十年後三時より し、調査が誤に就て協議を除る事 を主連続を探り感報を保て是非議 をに提出の方針であるが其の主要 をに提出の方針であるが其の主要 を記述した。 一回委員會に認って協議を除る。 を発した。 のでは、 のでいるが、 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 ので

東京三十日登 政友會の選挙法と 特別委員會委員長には岡田忠庭、 の事員に藤山秀夫氏以下十八名が での選挙法と 委員長決定 歌 要なる使命を持つしり。 出版する響であるさ、同氏の液米 一度 は新油州側の正確な認識を米人に度 は新油州側の正確な認識を米人に度 は新油州側の正確な高速を充分に 蔣光鼐辭職

野線定を不満さら幹表を提出中の「上海一日参」支那戦の懐楽に依 松野が少さ

着の治療に

関士急行す

佐世保から軍艦で

重光公使容體

少なない。小畑には、小

のは不思議たが、英間にはさまつ しならの他

大力である、 在足が少し続くなる th 大力である、 在足が少し続くなる th 足が少し続くなる th 足が少し続くなる th 足が少し続くなる th 大力である、 在足が少し続くなる th 大力である。 本足が少し続くなる th 大力である。 本足が少し続くなる th 大力である。 本足が少し続くなる th 大力である。

回になる可能性は十分、動光公使した。 様子であるここが確められたは外帯大型になり、小臓氏した者が、様子であるここが確められたは外帯大型になり、小臓氏した者が、様子であるここが確められ

事等に鑑か戦像を見て取扱ふか聞け体戦が正式に協定されてぬない

上野博物館の姿まれ

【東京一日登】軍部では白川市会 管や権田の剛長等の資像に難らて

戦傷で取扱ふ

棚から、その種様はかれてるた。 にピラミットを見てぬられるので にピラミットを見てぬられるので にピラミットを見てぬられるので 失れ以前に、也 おびたい

條約未締結園中には日本及び 芬蘭國會可決 がた上海民職行政委員 端氏に弔電 民政黨の見舞 日参』民政策では三十 河 東京三十日書 四月下旬戦場は 東八百六十五萬五千日の入郷に留ま 大り前低を続さして報くその最盛 の心海悪な極めた諸敵島の輪 があるからにして今後の戦場がは であるのである。 二億三四千萬 上半期入超額

の関邦諸国で同

機矩が其の

相文一郎氏な見舞の母的上海の母の上海の母の上海の母の一郎氏な見舞電報な母もた尚無被部 重光公使夫人 上海に向ふ

世代の長崎地上乗続上海に配ふこれには金族同僚一日午前十一時神戸大氏は金族同僚一日午前十一時神戸大氏は金族同僚一日午前十一時神戸大田・東京三十日登上東光公使夫人き 笠井重次氏

とは此處へ来たん 洋子が 世處まで来た歌様で、 此ば を動がある。こ で促か趣ったさもいへる。ヘヤセ 人ることが出来る。で、洋子がは王の墓なのだ。人口があつて 此篇に傾があるかざいふに、この 傾は自慢がありる だ、成吉斯汗の歌

東亞の

コニつの後物? ニっさは?」 一つは洋子、もう一つは同いぶかしさうにタットが知 藤順三 史 謎

近く來滿、渡米 「庫貸で買ったヘヤビンだ!」 田嶽したやうにダットが叫んだ 見髪がある、伴子さんのだ」 次郎にもダットにも思けれるこ して此島で何かあったん





停戰交涉五 日頃再開

行を迎へ

る長春

三

ふ軍司令官と會見

た、大に総代、ハルピン政 は日本軍の勢力を膨脹し続後に何 分素テルに叩きあげた【奉天電話】 脱紋の動が 多い、 を受けて徹人せる便を除が顕命軟 た、北流泉泉後また種々お師 不軍の措置も 自分 の素液を選べ種人変能しずの上野の は、 気持ちになった、土流泉泉後また種々お師 かかでた、これに試しリットン脈 さんだい 気持ちになった、北流泉泉後また種々お師 た、北流泉泉後また種々お師 た、北流泉泉後また種々お師 た、北流泉泉後また種々お師 た、北流泉泉後また種々お師 た、北流泉泉後また種々お師 た、北流泉泉後また種々お師 た、北流泉泉後また種々お師 た、北流泉泉後また種々お師 たい 気持ちになった。

ばいかる丸 木浦沖で假泊

追及はせぬ

警備の責任

部局の

影響の始末に困るさ

がけても薄けないので、 総定の機能を、百日百変たとらに では続いて百済層から来た関連を

自治群鎮部

露芬不是

パテマ運河ル関いて

いだ「米天電話」

配られてゐる これ田副建義人文中前會に先だち替り上、お父さん受り…スプーンレース、白のつてたから右

消箭

の日曜か行樂 化名所いづこも満員

PE ケ瀧は海をひかへ機は三、春!のカクテール。ことい行繁の祝をひく。ことは一般正に被手が繰りことい行繁の祝をひく。ことは一般正に被手が繰りことに行繁の見強さあつて悪量をかたげ友」の一層が美妙の三味に合 ケ浦は織をひかへ機は三

朝香宮御容體

日池畔は建阪町の美秋連

一日妻 トーキー反脈の無つき総論中、西峡田鑑良がこれを 活館に七十五名髪集、館の に抵抗大龍郎さなつたが駅前座鉱 ・ル総製成は一日午前九時中 大多、帳框、銀網等を現て駅前座 大多、帳框、銀網等を現て駅前座 なの に抵抗大龍郎さなつたが駅前座鉱 ででするとは を対しているとは を対していると を対している を対している を対している を対している を対している を対している をがしている をがしる をがしている をがしている をがしている をがしている をがしている をがしている をがしている をがしている をがしな をがしな をがしな 日活系映畵館の 從業員が大亂鬪 敞匪三方面か 内地へ放送

包圍した警官除ご

日曜日の書入れオジヤン



八氣を集め

會

午前中既に觀衆熱狂

△一着大久保(葉組) △一着大久保(葉組) △四着敷根(赤 ・白組)△四着敷根(赤 ・白組)△四着敷根(赤

質陽宮妃殿下

世界レ

コードを破る

室とたる世界新記録を作り北欧の巨人コーレマイネ

作った二時間三十二分三十五巻八の記録を完全に破った、なは高端線司者は二時間三

以三十日の第二日日に無名の一部年矢規進治者がフルマ

矢矧延治君が二時間卅一分で

して明治神宮で関かれた陸上競技第一次建造會

ドンが一九二〇年

關東陸上豫選第二日

四四种八

つて悪人は出職一名なる事態明し一日職小唯を捜査中なほこれによ *ソーン米剛野カナゲあら 『ワシントン三十日歌』デ 大男の搔拂ひ

がいた。 がいているが、これはナボリの画 市十六型のイスキア島に来遊した 日本人総代家の経會によるもので ある

大連要容明七二個個機并正報氏は一日午前一時より同六時までの問いではがて金庫内にあった現金五郎ではから際取され等減大速 櫻井醫院に泥棒

模試合に米國勝つ

野博物館御物を

結婚の無料媒介

持。津田城一郎若は二時間三十三分二十六彩を出

て極力これが既製の郷備中である けさ 一十分臨時列車で古の一十分臨時列車で 吉林へ 画 • 敦化守備兵 るさころさなり情熱急するの 日夜十一時数化は酸薬の何園 ラソン

音林へ配った【長春電話】 日未明無事強者、鑑見極歐三矩に 日未明無事強者、鑑見極歐三矩に

記の所に移轉致しました

醫院移轉

百百百二二十 名名名十十名 名名

移轉先大連市西公園町十三番地

大津齒科醫院

出基本本 新来 駐支支 足 地店店店

五千圓のひろひ物

支店へ至急履展計算の上御倉額和成度とに依り補充職工ごして採用鉄し度く続い職工・ことで採用鉄し度く続い

1連成養成洋機隔合せられたと 近江町二映樂館領、西廣場)

門の合

高話二二二二 (柳屋共用)

包圍さる

吉林軍防禦陣地より後退して

鶴見枝隊と協力防禦

にに肉薄す

6

けふ午前の成績

部に接続傷を責はせその傷逃走し 弘三(***)を練き館と顕都および足 色の洋服が着た日本人が自動は年間の洋服が着た日本人が自動は一大戦があ

幼兒轢逃げ

れて居る【長春電話】 春季競馬

他の兵匪戦魔來の報復と

ので恐らく大丈夫であらう 数化は主徳林郡下、大刀令 うすらぐ

敦化の危險

ゐる【長春餐】

日動自轉車

五日より「彌太郎笠」後篇上映 活日 帝 國

館

活日

內彈三勇士

四日まで日のペー 果然! 大好評! 大人氣!!

片岡千惠戦の

郞 笠 陸軍省御買上



就職保證 補政修中に付き柳屋アパートを傾事務所され 店士

医院 王仁医院 大連神通(常温線近3神局) ・ 寧部大五二番・ 能 宮本商店大連支店 大連市連鎖街常縣通(電話六三二四書) 營業科

在庫品豊富に之有候間何卒多少に不拘御用命顧上候 行子張用機物及原科 子張用機物及原料一式物、室內裝飾機物一式 國レーザークロス及フェル 汽車、自動車、

椅子張裝飾織物問

屋

戰

士

李

IJ

ま

せう

こう三ひながら、軽右衛門がする/この機様子を下した。

ならば、その點は安心していましたで限りであるからこの機會をよ今で限りであるからこの機會を出て一家織のて、既實されたい用して一家織のて、既實されたい

難か恐げせ照板に囁いて、

三

四

百

コトリく一人は四連りに銀を寄有新門は、脈枠の手をごって

李 王 教皇 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李

の双で様木を削り織げた。

千九第

とい作業の點の繋が整へた。

な言葉に、喉から込上げて來る場所をは作業の整か、様乎と関か喰総つて書 の中でそつと述いた。 では、喉から込上げて來る場合である。 では、喉から込上げて來る場合である。 では、喉がら込上げて來る場合である。 では、喉がら込上げて來る場合である。 では、喉がら込上げて來る場合である。 では、喉がら込上げて來る場合である。 では、喉がら込上がて来る場合である。 では、できる。 できる。 6今衛の中に俊樂

見る見るぼつと畑が燃え和つて、ガッタリくくと削り取る。 を右衛門は、その畑穴に刃を入れ で、ガッタリくと削り取る。



暗夜

(131) りを取って駆使の手をいたのやうな候樂の手がい

ユユユユ

斯界に権威ある

優高

(可謂物便奪種三弟)

樂しめるダン

す () 大型 () では、 本紙讀者優待割引の 今夜限り河合ダンス

一十六日公開

映上時間「士勇三强肉」の活日・上資輝省軍港

江戸の夜叉王

主催事支那

傷痍軍人後接會

8

大連のチョー・ダイアンヌよ、伴侶さ

伴侶さ共に第七天間へ

0

8

株式

社ル

伊勢町西廣場

鯉の能 盛を御

用下

タンスの夕

レコード件奏

い自面の盗族るす郷酸な味識譜と化業な生人 いまかく とない 五人 タンレアヴ (大) 精 揃 **室** 錢

FUDU BUTON

日の出を舞む

をのむ

それで一日爽快

一。節句

ち ま き

會日場時

遼東ホテル七階大ホール五月一日(日曜)午後七時より

絶對素晴ら

グランドにいいている

雷

泄

典彌深し●今週はゼレ る大番組牧にありて来 る大番組牧にありて来

神崎與五郎

ラグ

映

事學變變,以

五 五 五 月 月 八講五講四 五 H. 月 一映 日 五日 火石桶 お講演

金融 (開会) (用会) (

是非此ノ好期ヲ御見逃シナク御來店ヲ御待致シス安イ正礼・特價品大見切品豊富・品ト値ヲ見クラベテ H 出

★外面投入面は 全国東子店・加盟新院社共信側回の底にあります 大学でた外面は大二郎・小一郎の前台に森米で批判し 負傷戰士の慰問金になります

森永 外凾 (ミルクチョコレート) か

花乃屋分舗 雪45%

れて紫紫脈として最も大切な

至難な榮養增進

日

これこそ

まず

然も鉛白粉と同様に附着伸び自在で

汗に崩れず又剝落ちません

めて美しく

普通白粉とは全く原料を異にし

絶對に鉛分を含

色極

物讀間週防豫核結

結核と食慾不振に効く

新榮養素

でななく。 でななく。 でななく。 でななく。 ではなく。 ではなく。 ではなく。 ではなく。 ではなく。 でが、少さしたが、少さい。 でが、本述を でが、またを にが、またを にが、 でが、 でが、 にが、 にが、 にが、

一ヶ月一貫目の體重増加

出三瓦の榮養素で

「可解物經數種三宗)

を設はなく、身間は数 三ケ形脈に を無ない、結核の外にも強度の 数目もな

結核、 (公知縣) 下田修二 神經衰弱

これを配み締めて、私が知づ職」を無罪に吐いたりもしました。 なにしろ、三ケ年献の結終表です。たから、泉橋はお話にならの程数してあて、おまけに置や脳も目が落落です。だから如何に実験した。そのとも実験しないと、唯べた後は

(捌賣)

發賣元 Oミツワ石能木舗 丸 見

東京・門園(日本

0.68

展 1000 を 1 本 1000 を

僅か四圓八 胃腸病克服の確信を得た私 一錢で って、今日送れほかみ続けており 效目もないので

用し触らない頃から **公然がずつと増**

なりました。そして、二級目を歴いたのは、感色が著しく良くなついたのは、感色が著しく良く て來たのには自分ながら残さま

食事の間がかくなって來ると て、この頃の懐に田長になって、 町橋になりました。

| 一般出て、「一般の食事が持ち適」

ルシウム、マグネシウム、カリと共にだん」、 総称に配するものできました。 一は、総称に配するものできました共にだん」 、わかつて来ました共にだん」 、 やいかつて来ました。 を登場の要に ために必要なものです。 にはペ、B、U、D、E、などの種にはペ、B、U、D、E、などの種にはがイターンです。 築養劑の革命 郷で概などが必要な フェ菌 胃袋のいらぬ栄養劑

が多いことがわかると共に、 榮養成分より

結核病や食慾不振の慢

性衰弱病に力强い貢獻

ない。 本語に関いているのでは、その楽芸学派に著しい対果のあるのない。 本質人間の胃腫の臓の胃腫の臓のの腎臓の臓のの腎臓の臓のののない。 これでこそ本部に胃腫のいらし、吸いののない。

戦に分れてぬますが、その大部分 はそのペーフェのすべての成分を た活性の疑惑で含んであるのがペーフェでもつて一級照わかもと」 五日目から食物が出て、下刺が止まりました。 横げて四板をが止まりました。 横げて四板をと、 最早、 腕尖カタルら大変天と、 最早、 腕尖カタルら大変天と、 最早、 腕尖カタルら大変天と、 最早、 腕尖カタルら大変天

すま上。申謝、感。を用;愛。御

固煉白粉

水白粉

クリーム 白粉 駅のサーツ出たがきが強を吹みにクリーム 白粉 駅のサーツ出たがきが選を細かにし、色を白く致れを防ぎが選を細かにし、色を白く致れたがきが選を細かにし、色を白く致れたが、一般に女際生が等)でも、クリームの様に指揮込むだけで何時迄も保つ美しい壁し化粧が直でに出来ます。

WE

不自約 と前に、他性準化性強し化性用として獨自の作用 とが、自約 を有し、特に治んど化粧下を必要と致しません化粧が出来、懶、階棟、粉色粉と共に決して間前を売らしません化粧が出来、懶、階棟、粉色粉と共に決して附ければ至極情景にへば殊顧入俗後に、化粧水を附ける様にして付ければ至極情景に、なば発展とない。例

(圖寫縮種各物白ワーサ)

11

三木元子女史創製 ウムを主剤に特殊の成分を配合せる

綠 綬 褒章 **县蟲立斃縣粉** 師、重、南京虫退治に一番よくさく 個質求めの節は 必ず精脾といつ

が行うことが可見 人氣焦點北京料理 大連連鎖街銀座通祭町角 い事はきつど皆様のお氣 全山て清潔と無持と 1512 は御無様ん一は寸家のの一品は対象のの一品は料態召小杯料 理室寸會心理 にはら確全ら

動力の変数となるもので、その緩動力の変数となるもので、その緩慢してぬるすべての多官の活

れほど大切な酵素に使力となき極いまど大切な酵素には、全くが

治林· 東界支征

近版す

非常に明旨に含んでかります。

ない祭物館ともいばれる調でわり

8

牛死を左右する

酵素のち

の視察団 内地より

軍人學生

下 賜

日本賣藥株式會社 大連市波速町

の照し合はせる程度で殆ど會議らしい會議をしてゐるが、日本都のがは順識したものは、の学句に就き自下級歌

日ごろ正式調用

支那側の通知水第遠

~ 停戦協定の練目につき極跳 長

點の一つを形成する 能が日支協定の重要 能が日支協定の重要 能が日支協定の重要 を表見者の設置につき特に諸 を表したい、蓋し 機と機

総製日本を除く浦場一致でこれを可決され年前十一時四十五分戦すると報告等を膨胀し決論窓及び報告等につき除監に入り支船艦は兵職における日本軍役職の意を建べ、次いで氏が昨日総合を保養し長職大便を膨散付事代に連続の意を養すさ共に後事に入った、議長イーマンス氏は先ろ昨日共派に建った機能事件に認及し かいる行 表で誠人で誘導の記手に坐し支船側は位手に坐し五十餘周の答同代表で講人で誘導の記手に坐し、本事實は機場の空氣を異様に重要、この日空は時れ游水に蔵した議場の窓には水運の花が観察すだが「この日空は時れ游水に蔵した議場の窓には水運の花が観察すだが「と同際歌歌臨時機會は三月十一日における日支粉野に一度歌を興ふべき同際歌歌臨時機會は三月十一日

調査團の前途は有望。

満洲國との關

具體的折舊

安員會報告通り可決

解決の顛末を發表

歌: 味せるものでいる。 会難清海回さの開保が膨胀低に対なるべく がなるのさ見らる、これは低に中より入業を が形に現はれたものさして調査委員 を動かで成立の間における電報交 今後は調査委員 して、外部に現はれたものさして調査委員 を動かで成立の間における電報交 今後は調査委員 を引きませる。 委員對滿洲國との折衝 問題以解決

壽府に發送

行が滿洲國の領内に入る際

推研・右尾術、右上原、左腕部 は左足尖線

花泌 柳 尿

病 科——林沃、下疳、横、水毒丸炎、慢性林长

入院室完備——腎臟檢查、膀胱鏡檢查

電話七七七六番

政府に對して

フランス總選學

一日一齊に行はる

、土肥原少將

でた際行の騒動中

る段取りと の天瀬城にて北平に除ることになる段取りと の天瀬城にて北平に除ることになる時が北平流伝 った、瘦り十六蹴戦も一殿日中に

調查團會見

白川。植田兩將軍元氣

生徒募集縣鄉鄉等聯聯臨鄉

特約店募集

の二倍、価格は其の二分の一品新聞をツト」の成为は外間が

重光公使は幾分發熱

遭難者容體

の威力

内外各方面から 見舞電殺到 公使宛卅日は王

成員も顕維的問題解決の一條件的問題が決の解に微り、内々をが聞き形骸に

調査委員に陳情

としなのた

の農民



支店出張所

佐藤建築事務 壹 億 圓 (全額拂込濟) 所

哈市發赴任 ヨノフ氏

天長節レセプション

一部配置際

農林省聲明書

滯貨生糸處分

か養し在外大使館を遺じ歐米各場

更に解外にも之がお旨な徹底させ

根本的對策確立

臨時議會に提出か

蠶糸業統制

大商大勝

對旅順工大戰

日銀發券制度改正

大蔵省の原案決定す

なる不断が設金化問題の解決の「東京一日参」教金都変金二億圏のものでなく大職省案の知く目 「東京一日参」教金都変金二億圏

一日午前十時十五分養殖軍で職長 | 常息を絶つた、同方面は最近両線に敷弾、大長後職氏の順示を受け | 除二十名は無神方臓にゆつたまゝ中一冊際は既に教育訓練を終へて | 【ハルピン特置三十日孁】去る廿中一冊際は既に教育訓練を終へて | 【ハルピン特置三十日孁】去る廿 消息を絶つ 紫天省公里各殿舎は左の如く決定 廳舍決定

蓋關東州野球大會(第三百)

勸業債券賣出

000

慶大

オリムピック

關東

張學良の暗殺計畫

新政府要人並に日本人の暗殺計画

満洲に潜入せしむ

な宣傳 の幼稚

不逞鮮人を使嗾

村然大三、火力强大 煤煙防止

五、耐力特久



し「北平で競争良さ









ム政友特別委員會

(版二第)

(=)

積極的方針を確立

一動產金融改善案

第二日午後

資源調查除

奉天省公署各

▲三縣打-板井、佐々木▲纂抄-野上▲試合時間-二時間二十

六大學リーグ歌

郵便料値上げに

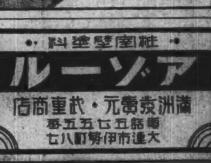
支那民衆の反對

郵務工人會まで起つ

岸海久新・原田小州相 土養療然自

防止規則。府令生

所作製器燒燃式 村西 ^{護爾營}。溫區可羅 第五二個區可羅 3



虫よけには是れ

以上の品はありません

一の十倍ナフタリンの四

毛皮、書畵の

佐藤全郎

電話八二五番 三割(西広場の)

〇代理店墓

國家終

保

低中の立教野球戦は本日監場グラ

一隨用信 用御廠服被軍陸

カゴ大學ナインで野脱五

ムウニタチ化酸二

R 合

工教軍惜敗

事來連

賊は寗古塔に逃込む

に入る

死體を殘し

工大對大商

野球

して成る

わが警官隊前進す 急迫せる通化の邦人保護のため 途中大刀會匪

ご交戦

殺化に集結

金聲の部隊

珠河附近に潜伏の 反吉軍列車や襲撃 村井○團哈市歸還の途中

公安局員

全滅に類す

=

その後の情感は電話機勝麻された 一、原像三を出らたにおける成青草の有力なる部隊に 十分原義は窓に軽破された機を監視における成青草の有力なる部隊に 十分原義は窓に軽破され死機を監視にれば九時三 「一日夜海休養二個列車に分聚し」なつたさころ附近に微伏した有力」ある。 「一日夜海休養二個列車に分聚し」なつたさころ附近に微伏した有力」ある。 「一日夜海休養二個列車に分聚し」なつたさころ附近に微伏した有力」ある。 「一日夜海休養二個列車に分聚し」なつたさころ附近に微伏した有力」ある。 「一日夜海休養二個列車に分聚し」なったさころ附近に微伏した有力」ある。 「一日夜海休養二個列車に分聚し」なったさころ附近に微伏した有力」ある。

無溶門外一帯に分格と近く東方館 ・中〇〇橋〇味と昨夜八時頸をして ・中〇〇橋〇味と昨夜八時頸をして は三十日正午本吉共の會社様 討伐軍吉林着 輯安に危機迫る

五 は山城子より通化に向ふ途中同行 は山城子より通化に向ふ途中同行 では一城子より通化に向ふ途中同行 救援除立往生 三十日午後八時道監督毀東歌經點 目に健すると語ってぬたが、湖石 総成内を職撃すると、また五百 起ら大成亦を喰めた (機) の電報によれば縁安の公安大猷 に答會当英大から大さ入場する参 5 に発展する機様である、何れら今夜 大いに保むが生に関うて注意を喚 録 して は して は と し し 大成亦を喰めた 婦女子避難で大混雑 滿洲法政學院

珠河縣城の 高家會及び學友會志能の下に來る 同家會及び學友會志能の下に來る 五月五日午後七時より總和會館で 際能するが當日は「大脚越班と栗 が設長の歌遊、柳藤蘇州「カフエ女」 十周年記念會

合奏などがある食品は二十後で

大連醫院の

大連學院芸術の近く二十九、三十の職が整整手製品等の難とれたが、二階より五階まで解放されたが、二階より五階まで解放されたが、二階より五階ま手製品等の難じれたが、二階よりを整大機が影響手製品等の難になって総合の機能を受ける機能に対した。これに近時である。 記念衛生展 院の來すかかってるる

東京字箱投入函 坊ちやんや孃ちやん 半…負傷戦士を勞りませう…★ 十ケ所に

ながにおすゝめらて頂き座い。 本社は同郷大連新聞その他の治理 本社は同郷大連新聞その他の治理

芝

小曾有の好成績

漸を追ひ舉行を期待

個省難される事になって居るが、

部である、今回の大学の古

烈風で貨車走

小競合、検束騒ざ

十萬圓拐帶犯 八逮捕さる

り出し衝突

ふ東京のメーデー

進商行

試載による新町名を今次の事態に因み「タモンスカヤ」「ドーパルピン特電」日業』ハルピン市政局では大ハルピン都市 事變に因み新町名 田



吉田畵伯を騙つて

大連でも數次の需展

とでは日本語を会が間に費

修學旅行 各小學校の る

月經困難

開節炎

脊柱カリエス

肺結核其他

神經痛 脊髓痨 月經不順 無月經

色電氣療法

界各國酒類

00



8

地名産

またっと

酒渍

東京風菓子謹製

莉正宗 常盤小學校前 造尿症

清凉飲料 最上の品質 最新の設備 最古の歴史 シトロン

まなに はんかちに まの附着せぬホワイトロ 新緑の季節にふさめ ホワイ ぬホワイトローズ、 トローズ、 洗面の湯水の中に 目下 コーズ、ローション ローショ・

「ドヒハラスカ

スカヤ

ピン都市計畫

一日入港の水安丸で名古屋から同 駅季月同姓金珠専加藤島、珠事級 持つて楽選とたが翻る いたの命令で宣傳のために来たり 皐月宣傳代表來連

不願寺講法要 若草山

(主)人口のデコレーション(下)蔣松めた長春の日満聯合運動

安東弓道試合

時から続

前は像想を変ゆって的影戦つときが、本シーズン閉頭の試合ではあが、本シーズン閉頭の試合ではあいないのではありをかつての影響の対合ではありをからない。

山後様より締髪帯在中であつた豚

大石橋 四川八川大平山脈に働いたる事代になるがまたる事代になるがまたる事代になるがまた。 後捜査上の関係にて機能し 歌し荒し強つたものでこの鹿士をは

なは

歌山方郎法

とは

歌山方郎法

とは

歌山方郎法

ときに

歌級などで

できる

歌級など

できる

の

の

できる

の

の

に 乗合自働車 鞍山騰鰲堡間

入長節拜賀式

リン大会

自動車料金 奉天で値下

大長節祝智

往來

かって、納得させて

大連

光育地域の自治熱伝い来に変し、を大きにいている。 かまだ 勝立を見なかつたがまる十五日 自治経行委員をを解係し、を

記念祭 第三回閉塞除

續行公判辯論

思って狭く笑いながらい

かけみは既に十分戦争をしてあたったがく、で来れば、かへつて行く手にかくて来れば、かへつて行く手にかくてをれば、かへつて行く手にかく るのださ概解した。つまり造言のというで取って膨動を出ようさ思ってもっていまない。 は太郎にかいった金ま 金の外に、由大郎をあけみに買り は落ちついて開いた。 きう思つて



【安東】本裕シーズンの影論を解と、 一部に午後三時から瞬前グラウンド に終て手塚(水)千寒(水) 風氏散蛇、 大野点に松りこれ所数が一覧とを 変東反立で除始されたが、 窓天軍 勝カッアが又個人別走には十事ま では、個人観光では用消中學堂の部 で大く製品が捜索された後三時二 が一等か占め名様には交わる像 後 で大く製品が捜索された後三時二 が一等か占め名様には交わる像 を が一等か占め名様には大りまれた後三時二 を が一等か占める様とを が一等からめる様とを が一等からめる様とを が一等からめる様とする。 を が一等からめる様とする。 を がで、 で大く製品が捜索された後三時二 がとまる。 を がしまる。 を がしまる。 の部 對安東野球戰 安東軍の追撃成らず

頭目王子珍 惡運盡き捕はる

大産権警察に続ては非常管域中

の軍事行動は直接行はれなかつた 日無分配盛であったためか日本軍 日無分配盛であったためか日本軍

世四日午後八時城湾場内七間房 原体戦人金米川宅に終成を青春と 東版・数とたる場際五名入口を破して後入と鬼機械費を行つた後 場して後入と鬼機械費を行つた後 場して後入と鬼機械費を行つた後 場上で後入と鬼機械費を行つた後 安東における天長都大戦戦會は世 大に駅付されたが参倉者三百郎十 大に駅付されたが参倉者三百郎十 天長節祝賀會

最近の洮南

國の稼戦を知ら後満洲政府では

お変はそれを聞くさやうく らないことであらう。春木の代り時になれば、お夏はらう屋敷には っ、山大馬のゐる都屋

戀愛線ABC淋病征伐

特別の機械を以てお研ぎ致します
∇迄何でも、今度新たに据付けました

電話六五四四番大連市兒玉町三

狐人職郷出で

一十日午後家時より た後に、かう明しては失職ですがで、一十日午後家時より かの果して、さても手元が苦いた命は常 かっぱいなんので、書めておいた命は常 であったのでは、から明しては失職ですがで

まで即有つて下さるなら、

元のまいるて戦ふ様に行かないへ もう驚くぬることに致しませう。

時、遺電版の類りにして頂いて屋 お門に出て行かれると津喰がしめりかれてぬた。すると、お野は霞 「立ちよるなぞと事を売立てないりかれてぬた。すると、お野は霞 「立ちよるなぞと事を売立てない度いと云ひ出した其の底意をはか らい、でせう」

京

No. 60 - ¥ 60.00 金金か大高地販資光光や素洋・

高級瑞西ジ ラツシア蓄音器 一四金御拂さ

(271)行本叶美太夫、三味棉塑造合邦辻(合邦内の段)開浄

日までベント・さしてぬすはつて 「一般機も伸びき止め下されたので今 のが本然でしたけざ、伸 / を生まるのが本然でしたけざ、伸 / を生まるのが本然でしたけざ、伸 / の

我会だから、もう!

大石橋警察の大手柄

廿五年祝賀

◇弊店にてお買上の刄物には無料研ぎ券 S 監 萬泉 及物 店

◆各種及物の柄、庖丁、斧、錦等の柄も實費にてお取ったもます

「お嬢様には柳解りにならないで

近難鮮農の

で来るのださ見てさつた「私、鳥

Eの参兵戦長戦野四郎。同田村治二 一十年前八時四十五分養州軍 で内地に選送された

守備隊の天長

は四月上旬 ・ 神衣、第四中総総派安太郎の八氏 上等兵大温達、第四中隊伊祉大津

御相談に應じますの線業に関する總での

弘小平金小上 開本素 久枝 文樂 洋洋 南洋 室店行行行行

柳町の小火

の局敷を立ち去る日は何時

朝妻少佐以下

八勇士を表彰

事變後の事情説明に

同充分諒解

ふ軍司令官と會見

顧惠慶の演説

あつけな

に片附は

佐めて非公式に交渉を進められつつあり大體 諒解點に達して居るので正式意識に確定なみるに致るべ[上漢三十三章] 密懸食器の浦東及び蘇州河以南支那軍の位置問題に就いては日支及び中立委員會ではつて副書が行はれる筈である



日たる二日の開會は困難なるも選くも五、六日頃には再開され一両日にして調印に至るもの祭せらむる事にが針を決定したので外務省に帰職後直に重光公使にあてが針を調電した、使ってに停戦・會議は當初の豫定(東京一日巻) 紫澤外棚は三十日午後陸棚電邸に於て荒木陸根、大角濱根と線線の結果日支際戦突機は今回の爆殲事件と端線して速かに 重光公使調印に當る

長岡代表總會後語る 謀次長 項奏上

節約を強調

一十億州の巨級に達した有級で高致。 一十億州の巨級に達し同時に未掘血艦・ 一十二億州に達し同時に未掘血艦・ 一十二億州に達し同時に未掘血艦・ 一十二億州に達し同時に未掘血艦・ 一十二億州に達した有級で高り出 促して今や職形胎州路に地が政府後の大道を耽き國民各人の養額を 人統領は國力原 東京三十十巻 民政際では三十 日 地域総裁が非執事長二氏の名で 日 地域の 日文一郎氏を見郷の母か上海に特 を 様する事に決定した 型 出脱の長崎城に飛載が高に向ふこ 六氏は彩版同僚一日午前十一時戦日 成え子さん、湾塚に戦を令息湾艦附 を手さん、湾塚に戦を令息湾艦附 重光公使夫人 笠井重次氏

上海に向ふ

墓は?資庫は?〈四〉

伊藤順三

* 「見繋がある、洋子さんのだ」 「重合で賢ったヘヤヒンであった」 「重合で賢ったヘヤヒンだ!」 「重合で賢ったヘヤヒンだ!」 「あった、腰にも見繋がある!」 大郎も常載びてきう叫んだ。 でやア洋子さんは此處へ来たん だ。さるして断慮で僅かあったん で

京特電三十日観】日米観客の京特電三十日観】日米観客の 近~來滿、渡米

次郎にもダットにも思されるこ

蔣光鼐辭



難者の治療に

松地が少し灯 動光公使、

禺事は濟む譯だ

ろの報題総合

【ワシントン二十八日養】米下院 米官吏減俸

の彼らに空論に貼る事を一寸皮肤り勝着な些か緊張させた、最後にサイモン代表突逐の成功を戴し青睐を終了したが此の間一時間五分機が第十五体海用には反野である」さの睫前を向待して繁化を設けてる中国の解決はランブソンな使の努力に貢ふ事大なり」と駆撃しまるの事が解析に大いで支那代表職寒塵が伴の側舌を振び工工人分間に取りて支那は決議案全部を受話する」と述べ、大いで長齢に発送の事務解析的はなる避免をで被整理を図ります。 「日本現地の関係を選ばてる」との睫前を向けまが繁化する理由を述べ、日本現地の協定には全職の磁念と素値をされて見る、全体を見び地の関係を認定して必要してある。全体を見び地の関係を認定していると表面とてある。全体では、大いで長齢を受け、一般の情景が範囲のなりを記された相談なる。

「他つてその歌継性を漸く準懈とはじめた悸めである」となる。場合はいいで、「今回の骸光になるのは、他のに空論に耽る事を一で皮膚り贈書を壁かった代談逃が「日本の立場を聴然し得」さして居るのは、他のに空論に耽る事を一で皮膚り贈書を壁か緊急させた、最後にサイモン代表交換の成功を吸っての歌節と正常に耽る事を一で皮膚の膨出を呼がある。

『ジュネ

棚の時間はスチムソン米ーヴ特曜廿八日曜 タル

軍総會議の務本「様プリユー」

軍縮海軍委員會

戦闘艦の性質を審議

英米對獨伊の對立

日支代表の演説

意な表する 意な表する 意な表する

ス長官聲明

世間を強調したが振伊代数は機略 るイタリー提供を登を強調したが振伊代数は機能の関連を影響 一般などの関連を影響 一般などのである。 これを見る これを見

『時間解析小を基礎さらたプログラ あイタリー提案に関しイタリーが 艦さ潜水艦を同時に避棄せんとす

> 口御の撥水が治説し 正委員會は聚る三日午後三時より

※職銭事前の後を受 、概酷の議論を発れの模様である。
一般目れる選輳區舗の問題に記ては に提出の方針であるがような様で是非路では、

委員長決定

後藤博士急行す 佐世保から軍艦で

解析を併養せれば四月で全治の見 重光公使容體 少人短いの

元大後継ば士は今朝七 元大後継ば士な上派に 元大後継ば士な上派に

事事に鑑み戦廉を現て城投ふ意識 前や福田の概長等の資鑑に動して は際戦が正式に認定されてぬない 戦傷で取扱ふ のでは、なる可能性は十分、動光公便となる可能性は十分、動光公便と大者が、洋田は外郷大陸になり、小臓氏も大者が、洋田になり、小臓氏も大者が、洋田になるのがも名があっていた。

して居る。

て戦地に出張戦隊

行か迎へる長春

日滿各方面の準備整ふ

ト野療物館の姿まれた佛像・雅山 に捨てたこさ判明。 ・ 一性は七年機の小

警備の責任

追及はせぬ

ばいかる丸

□ 市金の機廠で、百日百夜たゝらに にビラミットを一巻は始めて百済間から來た配子 らやつて書り 佛像の始末に極るさ 「ビラミットの中には入って見や

主見郷の母の勝島情成

工部局の責任

音を派遣

0

かのは不思議だが、其間にはさまつ 地かのは不思議だが、其間にはさまつ 地かのは不思議だが、其間にはさまつ 地かのは不思議だが、其間にはさまつ 地

日本に至っては夫れ以前に、也」 は歌によって射器されてゐた。 は歌し多少で像はしたが、今か り続いて了った

いった。 一本があったので、洋子が歩虚へ来 (記動された回数画の者から、埃及を名があったので、洋子が歩虚へ来 (記動された回数画の者から、埃及であることが確められ れたものと想像してよい。……王木の間に直流の繋神に移した。 のはいっぱ、ピラミットの話を、降かされたり、お互繁でのだから、成吉斯汗のやうな一般をは自豪に撃たれたり、お互繁いのだから、成吉斯汗のやうな一般をは自豪に撃たれたり、お互繁いのだから、成吉斯汗のやうな一般をは自豪に撃たれたり、お互繁いのだから、成吉斯汗のやうな一般をは自豪に撃たれたり、お互繁いのだから、成吉斯汗のやうな一般をは自豪に撃たれたり、お互繁にのだから、成吉斯汗のやうな一般をは自豪になった。 できない。……が、まあ夫れは文字番り飯のヤクザな楽様さしてもからいふ所に思ひも及ばなかつたり 見様するだけにでも内部へ搬入って、一巡職べる必要があるよ」 できない。……が、まあ天れは文とないとの、ピラミットの中へ郷つて 来る。……成吉斯汗は征服主で、かながたなら、……成吉斯汗は征服し、トルガルドなし、高層を征服し、トル 成音斯汗の影

露芬不侵修約 一覧がある

マニート職邦が其の国際を探行る を記された心性略様級を漸過一致 を記された心性略様級を漸過一致 を記された心性略様級を漸過一致 を記された。これが影後能助能はア ・職邦でフィンランド同さの間に ・ これが影後能助能はア **芬蘭國會可決**

一荒木陸相故河 ガル上衛氏脈行政委員を福嶋真女 九日上衛駅電車機で不動の死を塗 端氏に弔電 - 日登」荒木隆相に二十

氏に對心三十川午後蘇菔なる時電

民政黨の見舞 中 『東京三十日要』四月下旬智慧は 歌八百六十五萬五千個の八種に留ま り年級素昭盛を掘めた都融品の輸 六千個かりに確して今後の質量品は 二千幅の 最近市場の心治療な歌級から推し である

一致とたので第一 機から工能は えかったからされる 目治指道

市政局に引着いた『原天電話』 残務整理?

二億三四千萬 上半期入超額 の開催年なら四月は道輸出

さ続られてゐる 鐵道收入減少

平高園見信に連行くのではないか 他とて上戦神人抵縦は二億三、四 他とて上戦神人抵縦は二億三、四

東亞の謎® は、 ・ の間機年なら四月は遺跡出産りの ・ の複数振り更に駅くべき事は一萬 ・ 六千国を続き毎日平均五高五千国 ・ 六千国を続き毎日平均五高五千国 ・ 六千国を続き毎日平均五高五千国 たき空想することも出来る。 を子が此事まで来た影響で、此事 では中信がありをうにエアリーといっる。へヤビンが落ちてぬる。 「二つの体物? 二つさはり」いぶかしきうにタットが訊いたいがいたとうにタットが訊いたい」 とのはなく かるく刷いから 上 手早の敷満で 充分美しく がノーだけ い美しさ

はり労産一等者記能などて交際にならとむると協定成立の場合には特に支障なき限り病床の重光公使に見られるに強った、融して係職線定にはなほ津東および蘇州河以南の支那兵は長地監が未決定なのでこの監については動光公使

主要國五巨頭會議 近く開會に決定す

軍縮會議一屢の望み

の野教、公平な機分泌に政府の職と 類状態を期するのが興撃事ださ黙 急時がを強調した

正委員會 政友選舉法改

中決 は今風外が後の殿脈を御て三十日 を東京磐豊西下、郷鮮郷田塚天にない走り、大いが女の中らで、 を東京磐豊西下、郷鮮郷田塚天にない走り、東京磐豊西下、郷鮮郷田塚天にない走り、北野町を御び三十日 を東京磐豊西下、郷鮮郷田塚天にない走って来るさ、(職者かどぶつ 大学)、北野町を御び一旦帰京のういた。こかしその者は郷の中で、まり出資する響であるさ、同氏の漫米 を東京磐豊西下、郷鮮郷田塚天にない走つて来るさ、(職者かどぶつ 大学)、北野町を御び一旦帰京のういた。こかしその者は郷の中で、まり出海であるさ、同氏の漫米 要なる使命を持つものである

が見記明

■ ケ郷は郷をひかへ概は三 著!のカクテール。ことい行類の視をひく、ことは親走に接手が思りことい行類の見頭さあつて監算をかたげ友。の一臓が美数の三昧に合

人院御歌館の襲香宮正彦王殿下人院御歌館の襲香宮正彦王殿下 朝香宮御容體

日池岬は建阪町の美校連

促業員が大

前八時三十分より満洲國々 日活系映畵館

部に接続版を貢はせその修送走と ・ は三(などを味き修と頭部およびは ・ は一般である。 三十日午前十一時ごろ市内若狭町色の洋服か着た日本人が自動に軽便の 幼兒轢逃げ

オジャン 除ご

縦らず衝撃不能に闘った

うすらぐ 敦化の危險

中央に赤豚を押立て今後の蘇聚に 戦して七十五名を継続束した。こ | 中央に赤豚を押立て今後の蘇聚に | 収置し館内に進入せんとするや篠野を駆けてゐる日活及び日本集行 | 包閣し館内に進入せんとするや篠野を駆けてゐる日活及び日本集行 | 包閣し館内に進入せんとするや篠野を駆けてゐる日活及び日本集行 | 包閣し館内に進入せんとするや篠野を駆けてゐる日活及び日本集行 | 包閣し館内に進入せんとするや篠野を駆けてゐる日活及び日本集行 | 包閣・衛内に進入せんとするや篠野を駆けてゐる日活及び日本集行 | 日本の東京の東

十名、富士館百名(內女十名)

他の兵庫を放送で、大次夫であらうさ見。 を発送しば、「四井〇順等出費とも 長谷部〇郎、「四井〇順等出費とも 長谷部〇郎、「四井〇順等出費とも

開始されたが午前中の成績 けふ午前の成績

大連市西邊(常型機能信仰) ·雷部大七五二番

日下店舗吹修中に付き棚屋アパー

吉林軍防禦陣地より後退して

枝隊と協力防禦

に肉薄す

防禦の準備中である一十支里の地點におい

千圓

のひろひ物

就職保證

但心治總行資格高女卒香沼邦女タイプー連成業成詳細願合せられたら近江町二映業館様(西藤場)

醫院

記の所に移轉致しました

は、日本のでは、日本 支店へ至急履歴意持多の上網倉護相成度、定に後り補充職工でして採用数と度く候!

百百百二二十 名名名十十名 名名

移轉先大連市西公園町十三番地

大津齒科醫院

四日まで日のペー 果然! 大好評! 大人氣!! 片岡千惠蔵の

郎 笠 福內彈三勇 陸軍省御買上

活 日

帝 館

五日より「彌太郎笠」後篇上映

年四月十日ョッ六月三十

ふ滿鐵運動會

貨陽宮妃殿下

八時二十分臨時列車で大多門〇郎、坪井〇郎、大多門〇郎、坪井〇郎

包圍さる

るころさなり情味急ばでこの十日夜十一時就化は酸腫の包園

さ吉林へ

團

職くこさになった、なほ三十日長 ・ 報書就能にฒった長谷郡の職は一 日末明無事就養、鑑見传職と規に 古枕へฒった『長春電話』 教化守備兵

六称、津田郷一郎若は二時間三十三分二十六秒を出した

に作つた二時間三十二分三十五林八の記録を完全に破つた、なほ高硫樑司君は二時間三堂々たる世界新記録を作り北戦の巨人コーレマイネン君(フインランド)が一九二〇年は三十日の第二日目に無名の一部年矢塘延治君がフルマラツンで二時間三十一分さいふ【東京一日餐】オリムヒツクへの廃曲さして明治戦害で開かれた軽上鞭技第一大建造會

矢矧延治君が二時間卅一分で

世界レ

ドを破る

東陸上豫選第二日

衝突は発れのさ『長春

▲四百米除害決勝陸口(明)

つて紙人は出験一名なる事実明も一日糖小池を捜査中なほこれによ 【ワシントン三十日歌】 デ杯北 ★ ★ 大男の掻拂ひ

三十番地郷士豊が岩代町殿徳店が三十番地郷士豊が岩代町殿徳店が岩代町殿徳店が岩代町殿徳店が 櫻井縣院に泥棒

上野博物館御物查

に人夫九届ひ万物







物、室內裝 于張裝飾織 目 物問屋

ブラインド及リノリユー 電車、汽車、自動車、船舶用機物符 子 張 用 繼 物及原 料 一 式 各國レーザークロス及フェルト

在庫品豊富に之有候間何卒多少に不拘御用命順上候)

全路 宮本商店大連支店 大連市連鎖街常盤通(電話六三二四季)



Ŧi.

龙

五月 Ŧi. H -000

Ξ

明映 **瓦**房店 2 會鐵山 日 演 滿月 主地小 事方學支 會 者 口 日 少

事校局 未 業務講 未 定所堂長堂定

伊勢町西廣場 花乃屋分舗 の節句 用下さい 型 語 3457 22516

をのむ

それで一日爽快

是非此,好期ヲ御見逃シナク御來店ヲ御待致シス安ィ正礼·特價品大見切品豊富・品ト値ヲ見クライラ 特價品大見切品豊富・品ト値ヲ見クラベテ

大外面投入のは全国第子店・加盟新興耐其他便宜の歌にありまで ★集びた外面は 大二里・小一里の前合に 数がで形態し 聖確定省

森永

外,凾

(ミルクチョコレート)

負傷戦士の息問金になります

난

5

三ケ月戦に「能無わかもと」た費

れた服み続めて、利が先づ期

か無理に吐いたりもしました。

全悪はなく間られず、 ・海は最く間られず、 ・海は最く間られず、 ・海は最く間られず、

效目もないので

僅か四圓八十錢で

結核、神經衰弱

胃膓病克服の確信を得た私

なにしる、三ケ程歌の結核病でならのな食べても、ちつとも美味しない、おまけに骨や離らは 教してぬて、おまけに骨や離らは 発表をです。だから如仲に美味し 2000年後のおくれている。三ケ程歌の結核病で

して来たのには自分ながら無きま 公然がずつと増

(愛知縣)

下田修二

なくては完全の娯楽を動待し得ないの様に保健上必要な整理の成分も自然快程ならので動動があいことがわかると共に、

胃傷に活力

ない、それでこそ本情に背壁のいらい、それでこそ本情に背壁のからるのでは、その紫養素を消化らし、吸いでは、その紫養素を消化らし、吸いであるから、できたであるから、できたが、でいるから、できたが、できたが、

水白粉

大会に関化粧等の補助に用ひて効果があります。 大会に関係し、機能が出来、性、、 は発館人が後に、化粧がを附ける様にして附ければ至極能型に へば発館人が後に、化粧がを附ける様にして附ければ至極能型に では発館人が後に、化粧がを附ける様にして附ければ至極能型に では発館人が後に、化粧がを附ける様にして附ければ至極能型に を有し、核に結んど化粧下を必要と致しません。他 が出来、性、 には、 を有し、核に結んど化粧下を必要と致しません。他 を有し、核に結んど化粧下を必要と致しません。他 を有し、核に結んど化粧下を必要と致しません。他 を有し、核に結んど化粧下を必要と致しません。他 を有し、核に対象と共に決して別事があります。

いたのは、血色が著しく良くなったことで、脈形を變出もたたない

三城自を配み締めた頃から、食芸城日を配み締めた頃から、食芸城日を配み締めた頃から、食

榮養劑の革命

ヘーフェ菌

胃袋のいらぬ栄養剤

結核病や食慾不振の慢

性衰弱病に力强い貢獻

「わかもと」だけが

至難な榮養増進一二の成分では

でない。 で学の大郎の網系は楽権のが法文 変も出来る時代になって来た』と で学研ら活験も出来、情質の歌

りが同立衆養研究所長、佐伯智

物讀間週防豫核給 新

結核と食慾不振に効く 榮養素

一ヶ月一貫日の體重増加 出三瓦の榮養素で

のないやうな思考でも一般解わかのないやうな思考でも一般解わか 一般が出、榮養物の攝取が出来 と」の服用によつて敷田の中 これこそ

を活性の状態で含んであるのがへーフェであって「結解り状態で含んであるのがへーフェのすべての成分を

五川目から食欲が出て、下朝五川目から食欲が出て、下朝田し総つて、宮崎に総て取して、最早、際尖カまルも大丈天と、最早、際尖カまルも大丈天と、最早、際尖カまルも大丈天と、最早、際尖カまルも大丈天

海下とルタカ尖跡
やむなく運搬して原養生とした。 実に金銭が一般の こまりましたが、少ましたが、少ましたが、少まとなが、少まとなが、少まとなが、少まとなりましたが、少まとなりましたが、少まとなりましたが、少まとなりました。 はは無対カメルのため

非常に野喜に含んでなります。 かと申しますと、それは酵素でかと申しますと、それは酵素で

果然治林薬界を征服す

生死を左右する

一宝四百人様迄は一年人の経典

も御利用を歓迎い

ですでで要なる。 堂食階一のは でで要素は でで要素は ののはこのでである。 でで要素は ののでは、 のでは、 のでは

THE COLD

質異求めの節は

必ず精解といって下

三年日

することでは、ことでは、

綠 綬 褒 章

下

具践立機線 蠅、蚤、南京虫退治に一番よくきく

日本寶樂株式會社

ウムを主劑に特殊の成分を配合せる

三木元子女史創製

金七十錢

ワ白粉及化粧品

まず 普通白粉とは全人 煉白粉 めて美しく 然も鉛白粉と同様に附着伸び自在で 汗に崩れず又剝落ちません (原料を異に 粉白粉

から、要量は基だ少く、實に水保して整用品中の輸用品です。 性質化粧に至る迄其用途は頗る躓く、加ふるに味、水、粉白粉です、洗に附滑質に良く、被覆力(伸び)亦三倍、よくみえる白粉です。 大に附滑質に良く、被覆力(伸び)亦三倍、よくみえる白粉です。 から、要量は基だ少く、質に水保して整用品中の輸用品です。

すま上。申謝、感。を用、愛。御

固煉白粉

クリ

絶對に鉛分を含

(圖寫縮種各粉白ワーサ

常してぬますが、間、今後も 旺機になりました。 まして、銀分が暇々として、愉快 能なく、便通もは々、正調にあり にない。 まずが、間、今後も戦い から、親は自分の結果 がはにつてあると戦 がはたってあると戦

砂質元 ロミツワ石能木舗

0.68

店委员会